

ケアホームさくら荘 家庭のめくもいそのままに・・・



七夕

ベンチャースのコンサートに行けま
すように・・・



どんな願い事が
いいかね～



毎日の レクリエーション



毎日、14時から行うレクリエーション。
一番人気はやはり『カラオケ』。好きな歌を歌いながら若かりし頃の思い出を話して下さる方や奥様との思い出を話して下さる方などなど・・・良き時代の良き思い出が甦ってきます。
他にも風船バレーや玉入れなどチームに分かれて行うアクティブなゲームも人気です。皆さん夢中になって風船を打ち返したり、かごをよーく狙って玉を投げたり(スタッフに当てるのがうまい方も・・・)と、日々のストレスを発散するかのようハッスルされます。

社長による職員紹介

今回はケアタウン飛鳥の介護職、吉武秀子さんの紹介です。元々は文具屋さんや調理のお仕事を長年されていたが約10年前にハローワークで介護講習の案内があり、気軽に受けてみたのが始まりだった。ご家族に介護の必要な方がいたこともあり自然と馴染めたという。平成27年6月に当社に入社され4年目に突入した吉武さん、ゆっくり傾聴し、利用者様に寄り添う介護を目指しているが時間に追われ何もできないと悔やむこともある・・・しかし今後も「丁寧に」を心がけて仕事に取り組みたいと話す。プライベートでは旦那様と霧島にある温泉に行くのが最高の休日だと話す。時には大阪に嫁いだ娘さんも一緒に旅行されるそうで、それを楽しみに仕事を頑張っているという。平成29年には仕事と家庭の両立をされながら、介護福祉士も取得された頑張り屋さん！！出勤時には必ず全利用者様に「こんにちは、今日はよろしくお願ひします」と挨拶してまわる。当たり前のことかもしれないが、見習うべき習慣だと思う。そして忘れもしない2年前、業務改善や人事異動で現場に混乱が生じた時期、「私は社長についていきます！！」と言ってくれた。その言葉は心強く、勇気が湧いてきたのを今でも覚えている。今後も健康第一に吉武さんらしく頑張りたいと思う。

吉武 秀子さん



社是 「利他の心」



2018年
8月号

人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン

厚生労働省より

1 人生の最終段階における医療・ケアの在り方

医師等の医療従事者から適切な情報の提供と説明がなされ、それに基づいて医療・ケアを受ける本人が多専門職種(医療・介護従事者)から構成される医療・ケアチームと十分な話し合いを行い、本人による意思決定を基本としたうえで、人生の最終段階における医療・ケアを進めることが最も重要な原則である。

また、本人の意思は変化しうるものであることを踏まえ、本人が自らの意思をその都度示し、伝えられるような支援が医療・ケアチームにより行われ、本人との話し合いが繰り返し行われることが重要である。さらに、本人が自らの意思を伝えられない状態になる可能性があることから、家族等の信頼できる者も含めて、本人との話し合いが繰り返し行われることが重要である。この話し合いに先立ち、本人は特定の家族等を自らの意思を推定する者として前もって定めておくことも重要である。

2 人生の最終段階における医療・ケアの方針の決定手続

時間の経過、心身の状態の変化、医学的評価の変更等に応じて本人の意思が変化しうるものであることから、医療・ケアチームにより、適切な情報の提供と説明がなされ、本人が自らの意思をその都度示し、伝えることができるような支援が行われることが必要である。この際、本人が自らの意思を伝えられない状態になる可能性があることから、家族等も含めて話し合いが繰り返し行われることも必要である。

このプロセスにおいて話し合った内容は、その都度、文書にまとめておくものとする。

平成30年3月に厚生労働省より、平成19年にとりまとめた「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」の改訂を行ったとのこと。今回の内容に関しては、厚生労働省のホームページに記載があります。上記内容は抜粋のため全てではありません。ただ、有限会社「聖」としても、このガイドラインに沿った対応をしていきます。

また、自分たちは高齢者施設を中心に経営していることもあり、死が普段からそばにあり、死にたいとする感覚がどうしても麻痺しやすい所があります。そのため、時には家族からは冷たいと捉えられることもあり普段から本人・家族に寄り添える介護をと思っていますが、どうしても違和感があるようです。基本に立ち返り、もし自分が本人だったら、もし自分か家族だったらという視点を忘れないようにしていきます。

飛桜祭実行委員会よりお知らせです。

前回、お知らせしたとおり日程は9月15日(土曜日)17:30～となっております。また、今年は合同での開催予定のため雨天時は中止とさせていただきます。その時の連絡方法については追って報告させていただきます。今年のテーマは「昭和レトロへようこそ!!!」です。このテーマに沿った催しを開催予定です。ちょっと今までと違う感じがしませんか? 次回、9月号の広報誌をお楽しみに!!

有限会社 聖

住宅型有料老人ホーム ケアタウン飛鳥
住宅型有料老人ホーム ケアホームさくら荘
デイサービス陽だまり (通所介護)
訪問看護ステーション翔 (訪問看護)
ケアサポートセンターひじり (居宅介護)
ケアセンターさくら (訪問介護)

ケアセンターさくら便り

後期高齢者医療被保険者証・介護保険負担割合証が8月1日より新しい期間の物へ切り替わります。緊急時には利用者様が困ることになりますのでよろしくお願ひいたします。また、病院受診、薬局、歯科等からの確認も事業所の方へ来ることとなりますので、まだお持ちになられていないご家族様は早期にお持ちくださると大変助かります。よろしくお願ひいたします。

お洒落なシティ感覚 ケアタウン飛鳥

口腔体操



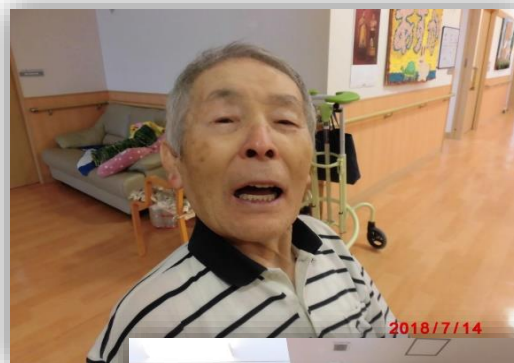
深呼吸をされたり、肩を上げたり下げされたりします



上を向かれたり、下を向かれたりします

2018/7/14

お食事の前に、口腔体操を実施しています。食べるために必要な筋肉を動かしたり、刺激を加えたりして、安全に美味しく、お食事を楽しんでいただけるように取り組んでおります。皆様、スタッフと一緒に、一生懸命に声を出されたり、体を動かされたりしていただいております。



2018/7/14

あ〜



2018/7/14

あ〜

皆様で発声練習された後、「あ・い・う・え・お」と声を出していきます

2018/7/14

訪問看護ステーション翔からのお知らせ

最近熱中症での救急搬送などニュースなどでよく耳にします。今回は熱中症について紹介したいと思います。熱中症は炎天下や暑い室内での長時間労働やスポーツなどにより引き起こされます。症状としては、めまい・立ちくらみ・だるさ・吐き気・嘔吐・頭痛などがあります。対処法としては、涼しいところで休む、保冷材などで体を冷やす、水分補給(ポカリなどの塩分が入ったものが良い)お茶などはカフェインなどの利尿効果が入っているため熱中症予防などにはおすすめ出来ません。熱中症にならないために室温調節、こまめな水分補給を心がけてくださいね！

七夕特集



七夕飾り作り



短冊に願いを込めて



みんなで飾りつけ



2018/6/27



音楽療法では七夕の曲に合わせて、歌ったり踊ったり、楽器を叩いたり♪



2018/7/5

七夕イベントでは、紙芝居をしました。みなさん、真剣に見入っておられました



おやつ作りは、七夕にちなんで(?)、涼しげなフルーツあんみつ・アイス添えを作りました。「豪華やわ。」「美味しいわ」との声が聞かれました。

2018/7/13



2018/7/13



ケアサポートセンターひじりからの介護保険便り

毎年8月に切り替わる「介護保険負担割合証」についてのお話です。介護保険サービスを受ける時の負担割合(1割~3割)が書かれた証明書ですが、この割合は、前年の所得により決定します。要介護・要支援などの認定を受けている方全員に7月に郵送で届きます。ケアマネジャーは、新しい証明書の割合を確認し、各事業者に伝えますので、それまで、ぜひ場所を決めて保管をお願いいたします。